



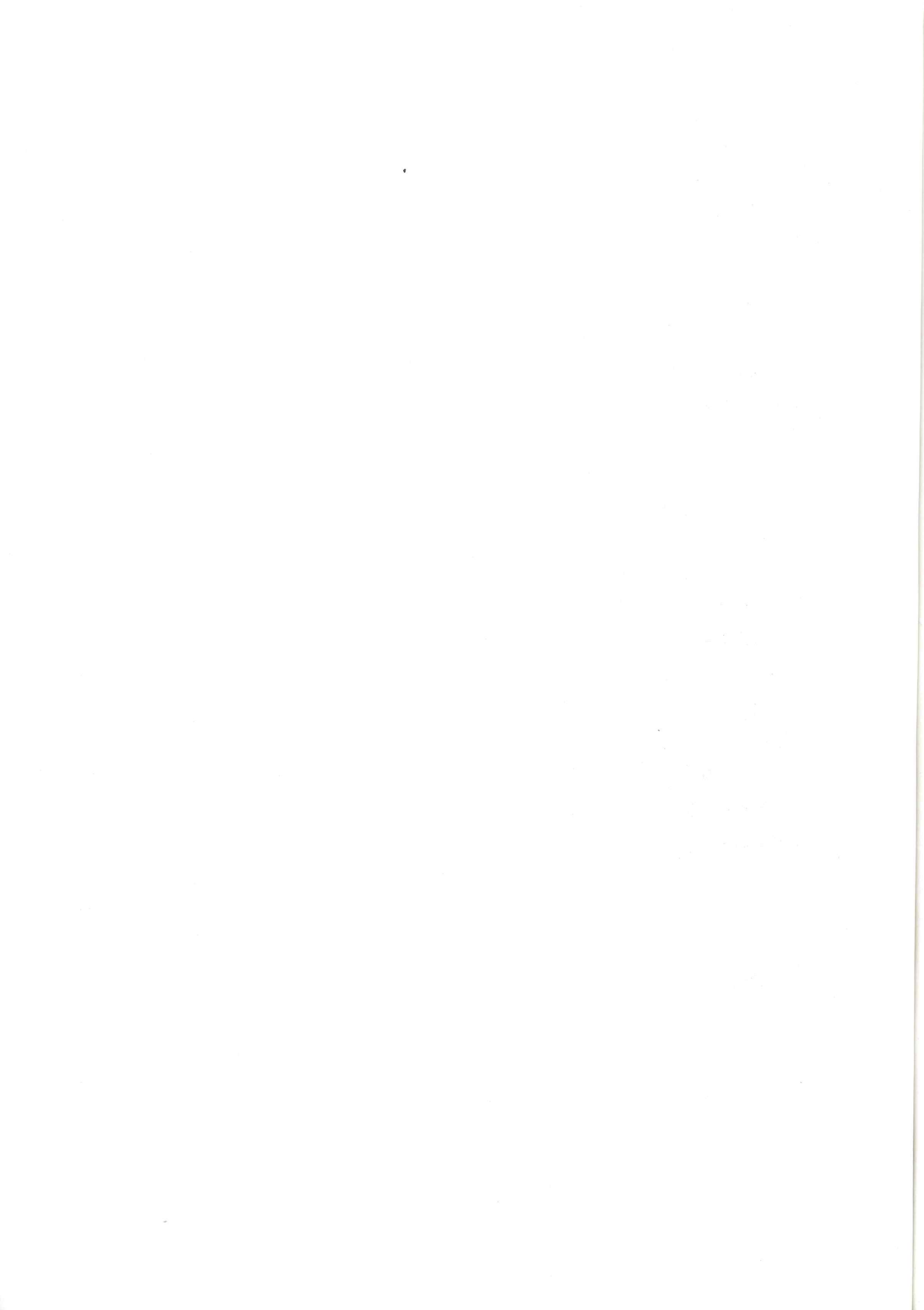
千葉県立美術館 年報 No.39 平成24年度

April 2012 – March 2013

Annual Bulletin of Chiba Prefectural Museum of Art

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成24年度主要記事	4
展示事業	
1 アート・コレクション展	6
2 特別企画展・企画展	11
3 第36回千葉県移動美術館	13
4 東日本大震災記録写真展	15
普及事業	
1 特別企画展・企画展関連事業	17
2 ワークショップ	18
3 実技講座	19
4 ミュージアムコンサート	21
5 博学連携事業	22
6 地域連携事業	23
7 情報資料室	24
8 活動協力など	24
調査・収集活動	
1 貸出資料一覧	26
2 新収蔵資料一覧	27
3 収蔵資料数一覧	27
管理運営	
1 組織	29
2 職員	29
3 利用状況	30
4 団体展一覧	31
5 施設	32
利用案内	36



あ い さ つ

千葉県立美術館は、昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆さまのさまざまな美術に対する要望にお応えできるよう努めてまいりましたが、このたび本館における平成24年度の活動を取りまとめた年報を刊行するはこびとなりました。

平成24年度は、特別企画展「魔法の美術館『光のアート展』—光と遊ぶ超体感型ミュージアム—」を、企画展「増村益城展—人間国宝 漆を極める—」を開催し、子どもから大人まで幅広い県民の皆さまに好評をいただきました。

また、本館が収蔵する作品の展示について、年間を通して種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アート・コレクション展」を開催したほか、36回目となる移動美術館を、神崎ふれあいプラザ文化ホールを会場に開催し、地元の方々から大変な歓迎をいただきました。これらの展覧会については、その理解を深め、作品鑑賞の一助としていただくため、美術講演会やギャラリートーク、ワークショップなどの関連事業としておこなっております。

一方、普及・教育事業では、県民の美術創作への意欲にお応えできるよう各分野にわたる「実技講座」を開講したほか、子どもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうための創作体験的な「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」、学校への出前授業として「出張鑑賞教室」、地域連携事業などにも力を入れてまいりました。

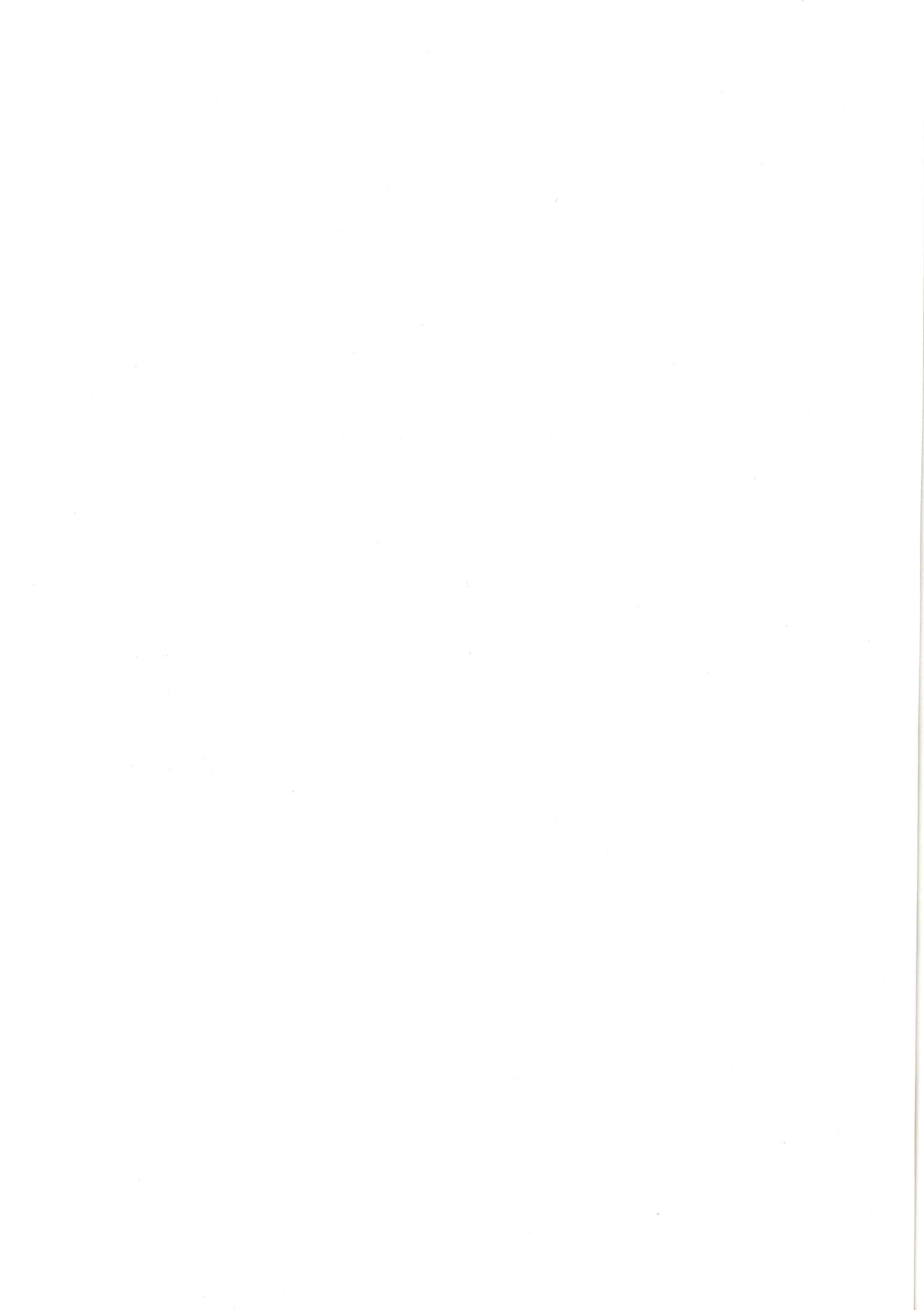
さらに、東日本大震災の復興支援として、日本赤十字社千葉県支部と協働で、岩手県釜石市、福島県福島市での出張ワークショップを実施したほか、千葉ポートタワーにて「復興への道のり～東日本大震災記録写真展Ⅱ」も開催しました。

現在、県立美術館は耐震改修等工事に伴い休館中ですが、再開館に向けての準備・研究活動を継続しております。関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆さまにはかわらぬ御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

千葉県立美術館長

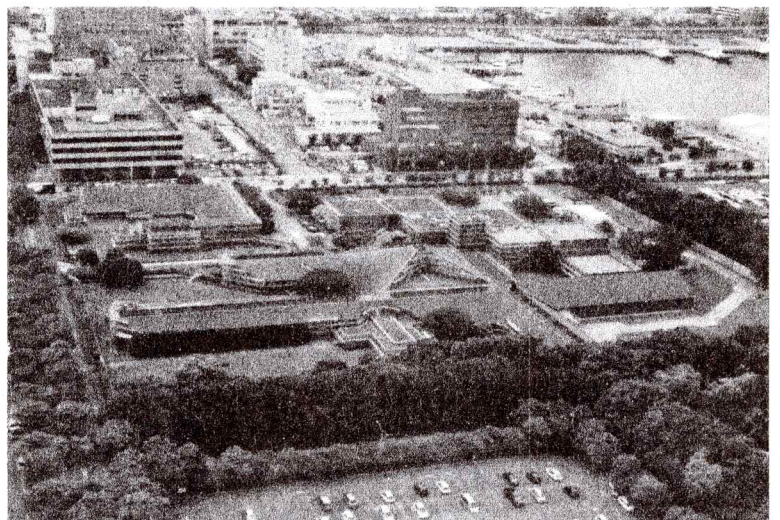
中 里 文 男



■ 沿革

昭和44年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	昭和53年11月18日	浅井忠像完成除幕式
昭和45年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	昭和53年11月30日	美術普及棟実施設計完了
昭和45年7月24日	建設地として千葉公園に内定	昭和54年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
昭和45年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	昭和54年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
昭和46年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	昭和54年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工 （監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和46年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	昭和55年2月29日	県民アトリエ棟竣工
昭和47年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	昭和55年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
昭和47年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	昭和55年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
昭和47年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	昭和55年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
昭和47年9月21日	展示棟杭打工事着工	昭和58年7月29日	美術普及コーナー開設
昭和47年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	昭和58年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
昭和47年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	昭和61年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
昭和48年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	昭和61年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
昭和48年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	昭和61年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
昭和49年3月31日	展示棟竣工	昭和61年8月12日	講堂浸水防止工事完了
昭和49年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	昭和62年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
昭和49年10月23日	開館記念式典開催	昭和62年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工 （監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和49年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	昭和63年5月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
昭和50年2月21日	管理棟杭打工事着工	昭和63年8月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
昭和50年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	昭和63年8月31日	展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
昭和50年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	平成元年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
昭和51年2月20日	管理棟竣工	平成元年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
昭和51年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	平成元年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
昭和51年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	平成元年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
昭和52年3月12日	彫刻の野外展示開始	平成2年6月8日	空調機改修工事完了
昭和52年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	平成2年9月29日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事着工
昭和53年1月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）	平成2年11月7日	室内標識改修工事着工
昭和53年2月21日	美術普及棟の準備会発足	平成3年1月31日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事完了
昭和53年10月17日	美術普及棟建築予算を計上	平成3年2月20日	室内標識改修工事完了
		平成3年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了
		平成4年4月1日	運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託

- 平成4年10月20日 温湿度記録装置改修工事完了
- 平成4年12月18日 食堂改修工事完了
- 平成6年7月23日 開館20周年記念特別展「房総の美術」
を開催
- 平成10年2月23日 ガス設備改修工事完了
- 平成10年12月24日 空調設備改修工事完了
- 平成11年6月5日 開館25周年記念特別展「ヒューストン
美術館展」を開催
- 平成12年3月30日 屋根材剥落補修工事完了
点字ブロック設置工事完了
- 平成12年7月31日 文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり
事業」受託
- 平成13年3月29日 屋根材剥落補修工事（第7展示室）完
了
- 平成14年3月25日 屋根材剥落補修工事（第6展示室）完
了
- 平成14年3月25日 非常灯用直流電源装置改修工事完了
- 平成14年3月25日 防犯カメラ改修工事完了
- 平成14年12月20日 直流電源装置蓄電池改修工事完了
- 平成15年3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
- 平成15年7月10日 空調設備改修工事完了
- 平成16年4月18日 来館者500万人達成
- 平成16年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描く－
渡辺學の世界」開催
- 平成17年8月20日 空調用インバータ装置改修工事完了
- 平成18年3月21日 電話装置改修工事完了
- 平成18年3月31日 アトリエ棟空調機修繕工事完了
- 平成18年3月31日 (財)千葉県社会教育施設管理財団への
運営委託終了
- 平成21年3月31日 空調設備修繕工事完了
- 平成22年3月25日 耐震補強事前調査完了
- 平成23年6月30日 耐震補強設計完了
- 平成24年3月21日 耐震意匠設計完了
- 平成24年12月12日 耐震改修等工事着工
- 平成25年1月4日 耐震改修等工事により休館



■平成24年度主要記事

- 4月1日 アート・コレクション『浅井忠の京都時代と「武士の山狩」』(～4/15)
- 4月1日 アート・コレクション「絵から聞こえる音」(～4/15)
- 4月1日 アート・コレクション「彫刻」(～4/15)
- 4月1日 アート・コレクション「千代倉桜舟 いろはにほへと…」(～4/22)
- 4月1日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～7/6)
- 4月17日 アート・コレクション「水彩画家・小堀進」(～5/20)
- 4月17日 アート・コレクション「富島風堂の花鳥画」(～5/20)
- 4月21日 アート・コレクション「肖像画」(～5/27)
- 4月24日 「みんなの県美・知っ得WEEK」(～4/30)
- 4月28日 アート・コレクション「篠崎輝夫とシルクロード」(～6/3)
- 4月28日 ミュージアムコンサート「千葉シニアアンサンブルコンサート」
- 4月29日 常設展ギャラリートーク
- 5月12日 第1回ワークショップ「みんなのかお・faceあーと」
- 5月15日 実技講座「陶芸講座(応用)」(～6/21 7日間)
- 5月19日 ミュージアムコンサート「緑と歌のプロムナード」
- 5月22日 アート・コレクション「瑛九の版画」(～7/6)
- 5月22日 アート・コレクション「工芸の技と美」(～7/6)
- 6月2日 アート・コレクション「夏を描く」(～7/6)
- 6月9日 アート・コレクション「いきものいろいろ」(～7/6)
- 6月16日 第2回ワークショップ「いろいろ・創作あーと」
- 6月26日 実技講座「陶芸講座(基礎)」(～7/25 6日間)
- 7月14日 特別企画展 魔法の美術館「光のアート展」(～9/2)
- 7月21日 ミュージアムコンサート「高校生によるサマーコンサート」
- 7月22日 特別企画展 魔法の美術館「光のアート展」ワークショップ①「じぶんちずバッグをつくろう！」
- 7月26日 博物館実習(～8/1 6日間)
- 7月28日 特別企画展 魔法の美術館「光のアート展」ワークショップ②「キラキラ・万華鏡づくり」
- 8月7日 日赤キッズプロジェクト「夢つくり隊」釜石プロジェクト
- 8月18日 特別企画展 魔法の美術館「光のアート展」ワークショップ③「キラキラ・万華鏡づくりPart II」
- 8月18日 ホリデーアート「コラグラフ講座」(8/25 2日間)
- 8月19日 特別企画展 魔法の美術館「光のアート展」関連ミュージアムコンサート「THE SHINY MUSIC -マリンバ・バイオリンによる光のひととき-
- 9月1日 ホリデーアート「シルバークレイ講座」(～9/8 2日間)
- 9月8日 アート・コレクション「池田満寿夫の版画」(～9/30)
- 9月8日 アート・コレクション「浅井忠フォンタネージとバルビゾン派」(～9/30)
- 9月8日 アート・コレクション「新収蔵作品展」(～9/30)
- 9月8日 アート・コレクション「書の美」(～9/30)
- 9月15日 第3回ワークショップ「モノレール・駅であーと」
- 9月23日 常設展ギャラリートーク
- 10月13日 ワークショップ「等身大から始めよう～舟をつくる～」(～12/26 展示)
- 11月6日 第36回移動美術館(神崎ふれあいプラザ文化ホール)(～11/17)
- 11月6日 実技講座「金工講座」(～11/27 7日間)
- 11月11日 第36回千葉県移動美術館ギャラリートーク
- 11月17日 企画展「増村益城展-人間国宝 漆を極める-」
- 11月17日 成田アート博覧会(成田山表参道仲町商店街・大野屋旅館・成田観光館)(～12/2)
- 11月18日 企画展「増村益城展」ギャラリートーク①
- 11月24日 企画展「増村益城展」開催記念ミュージアムコンサート「弦楽四重奏による室内楽コンサート」
- 11月25日 企画展「増村益城展」ギャラリートーク②
- 12月1日 第4回ワークショップ「ワクワク・創作あーと」
- 12月2日 企画展「増村益城展」ギャラリートーク③
- 12月9日 企画展「増村益城展」ギャラリートーク④
- 12月16日 企画展「増村益城展」美術講演会「増村益城の人と芸術」
- 12月18日 実技講座作品展覧会(～12/24)
- 12月23日 企画展「増村益城展」ギャラリートーク⑤
- 2月25日 企画展「東日本大震災記録写真展」(～3/11)

■ 展 示 事 業 ■

1 アート・コレクション展

水彩画家・小堀進

会場 第1展示室

会期 平成24年4月17日(火)～5月20日(日)

点数 10点

開催日数 30日間

No	作家名	作品名	制作年
1	小堀 進	真夏の海(太海)	1931
2	小堀 進	川原湯風景	1934
3	小堀 進	冬晴の果樹園	1936
4	小堀 進	海(白浜)	1954
5	小堀 進	溪流	1960
6	小堀 進	南欧の丘	1962
7	小堀 進	ロンドンの朝	1964
8	小堀 進	雨後の山(信州)	1964
9	小堀 進	花と海	1974
10	小堀 進	霞ヶ浦	1973

富取風堂の花鳥画

会場 第1展示室

会期 平成24年4月17日(火)～5月20日(日)

点数 7点

開催日数 30日間

No	作家名	作品名	制作年
1	富取風堂	夕顔	1951
2	富取風堂	洋蘭	1952
3	富取風堂	花籠	1954
4	富取風堂	花	1953
5	富取風堂	河畔	1965
6	富取風堂	初夏	1972
7	富取風堂	うすれ陽	1975

肖像画

会場 第3展示室

会期 平成24年4月21日(土)～5月27日(日)

点数 23点

開催日数 33日間

No	作家名	作品名	制作年
1	石井柏亭	晩春行楽図	1938
2	石井柏亭	病児	1904
3	菅谷元三郎	母の像	不詳

No	作家名	作品名	制作年
4	椿貞雄	八重子像	1918
5	柳敬助	デッサン(母子像)	不詳
6	浅井忠	婦人像	1907
7	石井柏亭	或尼僧	1942
8	霜鳥之彦	都鳥英喜像	1928
9	椿貞雄	老政治家の像	1953
10	椿貞雄	水彩画家(渡辺義一君像)	1953
11	鶴田吾郎	初秋	1921
12	鶴田吾郎	中西悟堂氏	不詳
13	鶴田吾郎	近藤浩一路氏	1954
14	鶴田吾郎	荻原井泉水氏	1954
15	鶴田吾郎	秋田雨雀氏	1954
16	鶴田吾郎	中沢弘光氏	1954
17	鶴田吾郎	徳富蘇峰氏	1954
18	堀江正章	西村房太郎像	1926-30
19	堀江正章	西村房太郎氏祖母像	1926-30
20	菅谷元三郎	恩師の像	1944
21	和田英作	塚本靖肖像	1901
22	花田忠吾	休日のS氏	1968
23	高田博厚	マハトマ・ガンジー	1960
24	高村光太郎	大蔵喜八郎の首	1926
25	安藤信哉	軍手	1967
26	国松加耶	自画像	1949
27	椿貞雄	自画像	1915
28	鶴田吾郎	自画像	1919
29	藤井外喜雄	自画像	1919
30	宮崎丈二	自画像	1923
31	石井柏亭	印度洋上	1911
32	中西利雄	人物	1936

篠崎輝夫とシルクロード

会場 第8展示室

会期 平成24年4月28日(土)～6月3日(日)

点数 43点

開催日数 32日間

No	作家名	作品名	制作年
1	篠崎輝夫	西域残映	1997
2	篠崎輝夫	敦煌莫高窟	1996
3	篠崎輝夫	敦煌	1986
4	篠崎輝夫	トルファン閑日	1996
5	篠崎輝夫	西域紀行	1995
6	篠崎輝夫	小雁塔	2002
7	篠崎輝夫	西安小雁塔	2004

8	篠崎輝夫	黒水城	2000
9	篠崎輝夫	安西への道	1997
10	篠崎輝夫	楡林窟	1998
11	篠崎輝夫	楡林窟の丘	1997
12	篠崎輝夫	破城子故趾	1997
13	篠崎輝夫	安敦公路烽火台	1997
14	篠崎輝夫	敦煌沙州故城	1997
15	篠崎輝夫	敦煌莫高窟大泉河	1984
16	篠崎輝夫	敦煌莫高窟千仏洞	1997
17	篠崎輝夫	敦煌大泉河	1998
18	篠崎輝夫	敦煌莫高窟	1996
19	篠崎輝夫	敦煌莫高窟千仏洞	1997
20	篠崎輝夫	鳴沙山	1997
21	篠崎輝夫	敦煌郊外の家	1997
22	篠崎輝夫	敦煌陽関	1996
23	篠崎輝夫	陽関遠望	1997
24	篠崎輝夫	交河故城	2001
25	篠崎輝夫	高昌故城より火焰山	2001
26	篠崎輝夫	ベゼクリク千仏洞	2001
27	篠崎輝夫	スバシ故城	1998
28	篠崎輝夫	スバシ故城	2001
29	篠崎輝夫	スバシ故城	2001
30	篠崎輝夫	キジル千仏洞	1998
31	篠崎輝夫	キジルガハ土塔烽火台	1998
32	篠崎輝夫	カシュガル街	1986
33	篠崎輝夫	妥梅英さん	2000
34	篠崎輝夫	マハモベッティさん (トルファン老人)	2001
35	篠崎輝夫	ウイグル帽の老人	2001
36	篠崎輝夫	阿布都熱西提さん	1998
37	篠崎輝夫	阿斯古麗肉孜さん (キジル)	2001
38	篠崎輝夫	アクスの老人 イムラムゼトホテさん	1998
39	篠崎輝夫	桂林漓江桃源	2002
40	篠崎輝夫	馬純禄 (桂林老人)	2000
41	篠崎輝夫	蘇州の水路	1991
42	篠崎輝夫	山西山嶺村	1988
43	篠崎輝夫	北京天壇	1997

瑛九の版画

会場 第1展示室

会期 平成24年5月22日(火)～7月6日(金)

点数 18点

開催日数 40日間

No	作家名	作品名	制作年
1	瑛九	銅版画集1『波のたわむれ』3道	1951-53
2	瑛九	銅版画集1『波のたわむれ』6夢	1951-53
3	瑛九	銅版画集1『波のたわむれ』8手	1951-53
4	瑛九	銅版画集1『波のたわむれ』10波のたわむれ	1951-53
5	瑛九	銅版画集2『林の目』3ヴァイオリン	1951-53
6	瑛九	銅版画集2『林の目』4林の目	1951-53
7	瑛九	銅版画集2『林の目』9みみづく	1951-53
8	瑛九	銅版画集2『林の目』10家族	1951-53
9	瑛九	銅版画集3『雲の花』1散歩A	1952
10	瑛九	銅版画集3『雲の花』5音楽11	1953
11	瑛九	銅版画集3『雲の花』6魚	1954
12	瑛九	銅版画集4『サーカス』2よろこびB	1953-56
13	瑛九	銅版画集4『サーカス』7サーカス	1953-56
14	瑛九	銅版画集4『サーカス』9ひまわり	1953-56
15	瑛九	銅版画集5『風車』1あこがれ	1954
16	瑛九	銅版画集5『風車』3愛する二人	1955
17	瑛九	銅版画集5『風車』6誘惑	1955
18	英九	銅版画集5『風車』8風車	1957

工芸の技と美

会場 第1展示室

会期 平成24年5月22日(火)～7月6日(金)

点数 12点

開催日数 40日間

No	作家名	作品名	制作年
1	加藤土師萌	酒瓶	1942
2	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
3	関谷四郎	銅鉄壺	1974
4	香取正彦	臙銀玉錯花瓶	1977
5	香取正彦	鑄銅四神文四方花瓶	1952
6	香取正彦	銅花瓶	不詳
7	高村豊周	青銅花入	不詳
8	秋山逸生	蓄芝山象嵌額	1966
9	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966
10	鹿島一谷	布目象嵌 白鷺四態図 銀水注	1996

No	作家名	作品名	制作年
11	中臺瑞真	桐経箱	1992
12	中臺瑞真	桐菱形塗輪花盛器	不詳

夏を描く

会場 第3展示室

会期 平成24年6月2日(土)～7月6日(金)

点数 22点

開催日数 30日間

No	作家名	作品名	制作年
1	石橋武治	水辺初夏	不詳
2	富取風堂	斜陽(夏すがた其一)	1936
3	富取風堂	夜(夏すがた其二)	1936
4	富取風堂	漁村の初夏	1942
5	丸山晚霞	初夏	1912
6	三宅克巳	駿州三嶋在の緑陰	1947
7	足立源一郎	水郷初夏(十二橋)	1955
8	足立源一郎	水郷初夏(中州水明館より)	1955
9	椿貞雄	夏の風景	1928
10	若木山	わだつみ	1968
11	若木山	潜	1966
12	田中善之助	日傘	1907頃
13	鳩川誠一	花火	1955
14	横尾芳月	緑陰	1959
15	椿貞雄	夏之路傍	1921
16	不破章	台湾の農家	1978
17	大久保作次郎	海水浴帰り	1917
18	大久保作次郎	風	1955
19	松本弘二	海鹿島の夏	1951
20	中山爾郎	フロイエンの丘	1988
21	黒沢吉蔵	古郷晩夏	1988
22	古川 弘	夏園少年	1949

いきものいろいろ

会場 第8展示室

会期 平成24年6月9日(土)～7月6日(金)

点数 27点

開催日数 24日間

No	作家名	作品名	制作年
1	浅井忠	虎図	1902-07
2	鈴木章	七面鳥	1932
3	柳原義達	銅版画三葉集 2. 鳩B	1977
4	富取風堂	游鯉(其一)	1928

No	作家名	作品名	制作年
5	富取風堂	游鯉(其二)	1928
6	富取風堂	厩舎	1938
7	富取風堂	親子猿	1964
8	津田信夫	犬	不詳
9	大須賀喬	昆虫文飾皿	1986
10	高村光太郎	猪	1905
11	佐善明	New York Letter	1984
12	石井林響	白閑鳥	1924-25
13	新海竹太郎	老馬	1921
14	沼田一雅	鸚鵡	不詳
15	大野隆徳	李朝の鉢と金魚	1934
16	杉原笛邦	水辺	1964
17	生田宏司	静寂の間	1995
18	生田宏司	金魚鉢もう一つの金魚	1991-92
19	石川 響	化石の渚	1975
20	時田直善	望洋	1930
21	西村昭二郎	鴨わたる	1973
22	時田直善	春野三部作 揚げ・鳴き・台切	1973
23	多賀新	瞳<ユニコーン>	2000
24	春日部たすく	戯れ	1964
25	山室百世	鳥形水差	不詳
26	櫻田清一	サンマルコの鳩	1972
27	澤田志功	森は観つめる	1995

池田満寿夫の版画

会場 第1展示室

会期 平成24年9月8日(土)～9月30日(日)

点数 23点

開催日数 20日間

No	作家名	作品名	制作年
1	池田満寿夫	出来事	1962
2	池田満寿夫	飾り窓の中	1963
3	池田満寿夫	Something 1	1966
4	池田満寿夫	開いたブラウス	1966
5	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966
6	池田満寿夫	閉ざされた夜のために	1966
7	池田満寿夫	中間	1967
8	池田満寿夫	ハートの位置	1968
9	池田満寿夫	ウェルカムB	1969
10	池田満寿夫	午後	1969
11	池田満寿夫	マーガレットの庭	1970
12	池田満寿夫	遙かなる通り	1970
13	池田満寿夫	スフィンクス	1970

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
14	池田満寿夫	夜の旅	1970	17	浅井 忠	図案画稿 (魚の図)	不詳
15	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」		18	浅井 忠	図案画稿 (花瓶図)	不詳
		1. アウグストスに寄せて	1973	19	浅井 忠	図案画稿 (木かげの女)	不詳
16	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」		20	ミュシャ	サロン・デ・サン20回展ポスター	
		2. くずれた土	1973				1896
17	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」		21	浅井 忠	浅井忠肖像写真	不詳
		3. 蒼白なる真珠色	1973	22	浅井 忠	新編自在画臨本	不詳
18	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」		23	浅井 忠	訂正自在画臨本	不詳
		4. 枯れたすげ	1973	24	浅井 忠	絵葉書 富くじ売り	不詳
19	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」		25	浅井 忠	絵葉書 松に花	1902
		5. メラグレーナ	1973	26	浅井 忠	絵葉書 グレーの秋	不詳
20	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」		27	浅井 忠	絵葉書 菊花図	不詳
		6. 春雷	1973	28	浅井忠	絵葉書 花木にロバ	1902
21	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」					
		7. 拋物線	1973				
22	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」					
		8. 胚種 (または木の芽時)	1973				
23	池田満寿夫	「トラベラーズ・ジョイ」					
		9. 花をつけた灯心草	1973				

新収蔵作品展

会場 第3展示室

会期 平成24年9月8日(土)～9月30日(日)

点数 29点

開催日数 20日間

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

会場 第2展示室

会期 平成24年9月8日(土)～9月30日(日)

点数 28点

開催日数 20日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	関 主税	韻	1991
2	櫻田久美	海に見える花畑	1992
3	富田通雄	洗足風景	1930頃
4	富田通雄	銀座展望	1952
5	富田通雄	画室	1953
6	富田通雄	浴後	1958
7	富田通雄	出を待つ踊り子たち	1978
8	古川 弘	夏園少年	1949
9	古川 弘	童女と雪	1950
10	石井康治	調	不詳
11	石井康治	北溪	不詳
12	佐治賢使	さやか	1985
13	藤田喬平	飾宮「夢殿」	不詳
14	深沢幸雄	めし	1956
15	深沢幸雄	輪舞	1992
16	深沢幸雄	紫煙	1993
17	深沢幸雄	月のマークのTシャツ	1993
18	深沢幸雄	灯がとる街	1993
19	深沢幸雄	勝利を歌う鳥	1993
20	深沢幸雄	楽しい時間	1997
21	深沢幸雄	休息する天使	1997
22	深沢幸雄	街の灯	1998

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	グレーの塔	1901
2	浅井 忠	藁屋根	1887頃
3	浅井 忠	小丹波村	1893
4	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860頃
5	フォンタネージ	森の空地の農婦	不詳
6	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
7	ルソー	バルビゾンの農場	1850-55
8	トロワイヨン	河辺の道	1860-65
9	コロー	フォンテンブローの風景	1830-35
10	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860
11	クールベ	雪の中の小鹿	1869
12	ジャック	森の中	1871
13	浅井 忠	農家風俗画手塩皿	1902-07
14	浅井 忠	向付皿	1902-07
15	浅井 忠	絵皿	1901
16	浅井 忠	図案画稿 (花木)	不詳

No.	作家名	作品名	制作年
23	深沢幸雄	青い空の不死鳥	1999
24	深沢幸雄	黄昏銀座	2000
25	深沢幸雄	掌中劇場	2000
26	深沢幸雄	青い壘の形	2001
27	深沢幸雄	青い衝動	2004
28	深沢幸雄	幼な子の夢	2008
29	深沢幸雄	街頭の散策	2009

書の美

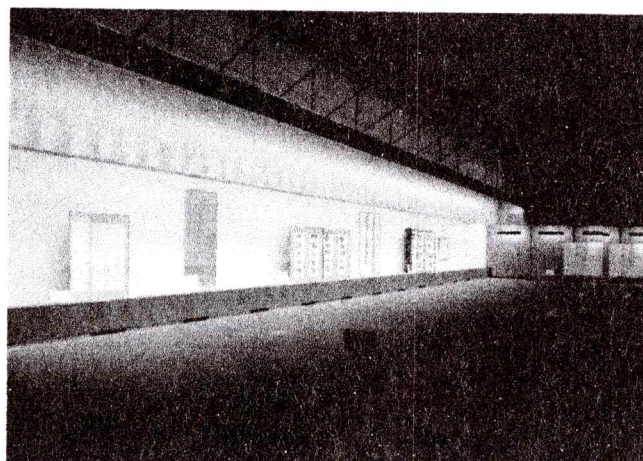
会場 第8展示室

会期 平成24年9月8日(土)～9月30日(日)

点数 14点

開催日数 20日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅見喜舟	白楽天詩	1954
2	浅見喜舟	木戸公之詩	不詳
3	浅見喜舟	朱存理詩	不詳
4	今関脩竹	左千夫の詩	1988
5	高宮金陵	山部赤人歌	不詳
6	中村象閣	古泉千櫓の歌	1972
7	高木東扇	旅人	1981
8	千代倉桜舟	宗左近の詩	1988
9	種谷扇舟	石原八束の句	1989
10	金子聴松	孟浩然詩	1992
11	中村象閣	万葉集歌	1998
12	浅見錦龍	良寛の歌	1999
13	小高暎帯	杜甫の歌	1999
14	國吉幸舟	大伴家持詩	2001



2 特別企画展・企画展

■ 平成24年度 特別企画展

「魔法の美術館『光のアート展』

—光と遊ぶ超体感型ミュージアム—

会 場 第1・2・3・8展示室

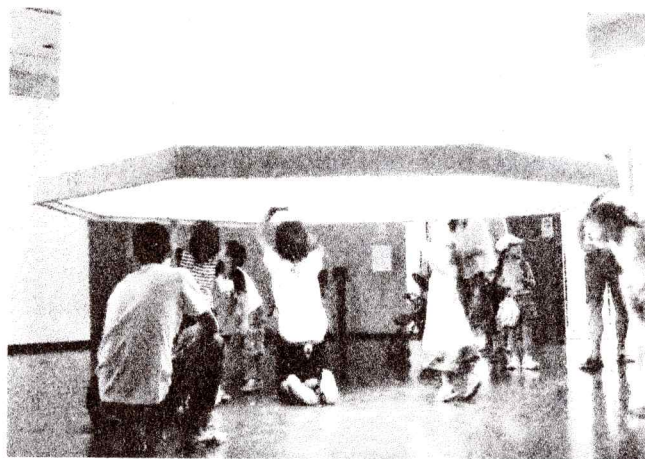
会 期 平成24年7月14日(土)～9月2日(日)

点 数 17点

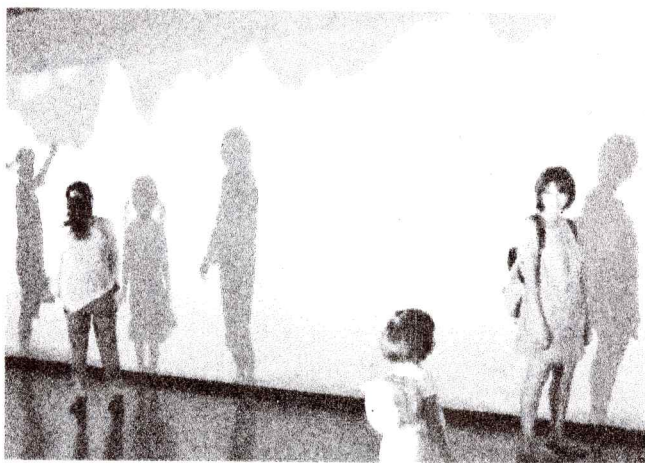
開催日数 44日間

入場者数 26,192名

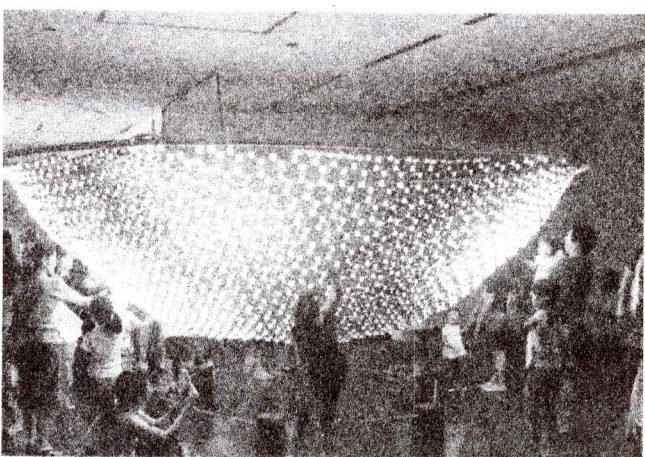
No	作家名	作品名
1	アトリエオモヤ	光であそぶ
2	真鍋大度/ 比嘉了	happy halloween!
3	赤川智洋	Below the Shank
4	鈴木太朗	青の軌跡
5	そがあやの	Sound Round
6	松村誠一郎	Hop Step Junk
7	松村誠一郎	Body/Shout/Sequence
8	浅野耕平	Garden
9	山口レイコ	one button game
10	森脇裕之	Lake Awareness
11	森脇裕之	Tea for Angel
12	真鍋大度/ 石橋素	command line wave
13	小松宏誠	Air's song
14	プラブラックス	Kage's Nest
15	プラブラックス	イシムシの標本
16	クワクボリョウタ	十番目の感傷(点・線・面)
17	浅野耕平	幸せはそこにある



光であそぶ



Below the Shank



Lake Awareness

■ 平成24年度企画展

「増村益城展 一人間国宝 漆を極める」

会 場 第1・2・3・8展示室

会 期 平成24年11月17日(土)～12月27日(木)

点 数 90点

開催日数 35日間

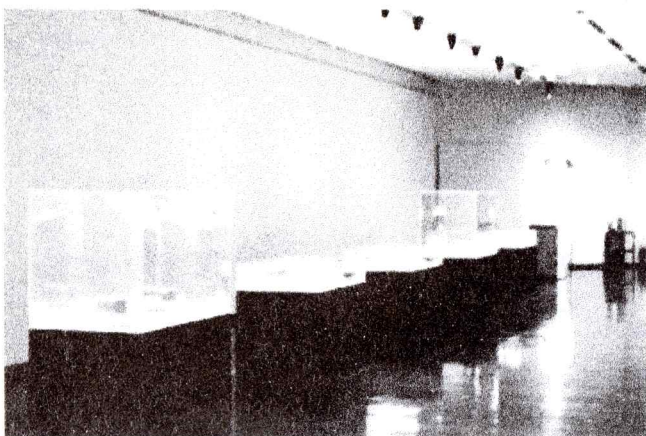
入場者数 3,813名

No	作家名	作品名	制作年
1	増村 益城	朱塗小皿	1927
2	増村 益城	摺漆盆	1932
3	増村 益城	乾漆花筒	1934
4	増村 益城	黒呂色平卓	1939
5	増村 益城	線文小筥	1947-48
6	増村 益城	朱塗平卓	1950-53
7	増村 益城	屠蘇器一式	1951
8	増村 益城	髹飾文机	1955
9	増村 益城	乾漆菓子器	1956
10	増村 益城	乾漆盛器	1957
11	増村 益城	乾漆根来盤	1960
12	増村 益城	髹飾線文盛器	1960
13	増村 益城	乾漆魚文盛器	1960
14	増村 益城	乾漆流水文盛器	1962
15	増村 益城	乾漆提盤 洗朱	1963
16	増村 益城	乾漆提盤 溜塗	1963
17	増村 益城	乾漆一閑盛器	1964
18	増村 益城	波文根来盆	1964
19	増村 益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
20	増村 益城	乾漆盆	1966
21	増村 益城	乾漆食籠「亀甲	1968
22	増村 益城	乾漆食籠「分銅	1969
23	増村 益城	菊波一閑盆	1970
24	増村 益城	根来菊茶入	1970
25	増村 益城	乾漆輪花盆 本朱	1971
26	増村 益城	乾漆輪花盆 古代朱	1971
27	増村 益城	乾漆根来梅花蓋物	1972
28	増村 益城	一閑独楽塗茶入	1973
29	増村 益城	和紙張独楽茶器	1973
30	増村 益城	紙胎華形盤	1973
31	増村 益城	縄胎華形盤	1973
32	増村 益城	紙胎華形盤	1974
33	増村 益城	麻紐胎朱溜菓子器	1975
34	増村 益城	紙胎六曲華形菓子器	1976
35	増村 益城	鈴虫蒔絵茶入	1975

No	作家名	作品名	制作年
36	増村 益城	縄胎華形盤	1976
37	増村 益城	縄胎華形盤	1977
38	増村 益城	乾漆梅花蓋物	1977
39	増村 益城	木地溜塗茶托	1978
40	増村 益城	根来四ツ椀	1978
41	増村 益城	波文紙胎青海盆	1979
42	増村 益城	乾漆梅花蓋物	1979
43	増村 益城	乾漆蓋物 花	1979
44	増村 益城	乾漆うつわ	1980
45	増村 益城	乾漆布目華形盤	1981
46	増村 益城	洗朱十二稜盤	1981
47	増村 益城	金彩細棗	1981
48	増村 益城	乾漆一閑盆	1981
49	増村 益城	根来四ツ椀	1981
50	増村 益城	卓上膳	1981
51	増村 益城	安居屋盆	1981
52	増村 益城	乾漆布目華形盆	1981
53	増村 益城	乾漆朱輪花盆	1983
54	増村 益城	乾漆朱輪花盤	1983
55	増村 益城	乾漆金彩花輪中次	1985
56	増村 益城	乾漆真塗喜久茶入	1985
57	増村 益城	乾漆古代朱喜久花茶入	1985
58	増村 益城	紙胎金彩盤	1986
59	増村 益城	紙胎金彩盤	1986
60	増村 益城	髹漆技術記録(乾漆輪花盆)	1986
61	増村 益城	乾漆洗朱八角茶入	1986
62	増村 益城	乾漆花輪中次	1986
63	増村 益城	紙胎朱溜葉盤	1987
64	増村 益城	紙胎金彩葉盤	1987
65	増村 益城	朱うるみ乾漆盛器	1987



No.	作家名	作品名	制作年
66	増村 益城	乾漆洗朱葉盤	1988
67	増村 益城	根来朱角切折敷	1989
68	増村 益城	張り抜き茶入 花	1989
69	増村 益城	古代朱はりぬき茶入	1990
70	増村 益城	洗朱乾漆輪花盆	1990
71	増村 益城	乾漆溜塗食籠 「亀甲」	1991
72	増村 益城	乾漆赤口洗朱菊花盤	1992
73	増村 益城	乾漆朱喜久茶入	1991
74	増村 益城	真塗乾漆八稜茶器	1992頃
75	増村 益城	乾漆八稜茶器	1992頃
76	増村 益城	乾漆金彩鉢	1993
77	増村 益城	乾漆和紙張金彩方盤	1994
78	増村 益城	乾漆洗朱菊の盤	1994
79	増村 益城	乾漆洗朱ぬりぼかし菊花盤	1995
80	増村 益城	乾漆洗朱ぬりぼかし菊花盤	1995
81	増村 益城	乾漆洗朱金彩輪花中次	不詳
82	増村 益城	黒呂色合子	不詳
83	増村 益城	柚子	不詳
84	増村 益城	根来朱盤	不詳
85	増村 益城	一閑銘々皿	不詳
86	増村 益城	根来合鹿碗 洗朱	不詳
87	増村 益城	根来合鹿碗 洗朱	不詳
88	増村 益城	紙胎真塗中次	不詳
89	増村 益城	へぎ一閑八寸盆	不詳
90	増村 益城	独楽一閑茶器	不詳



3 第36回千葉県移動美術館

神崎ふれあいプラザを会場として、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、版画の各6分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第64回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。期間中にギャラリートークを開催し、展示作品の解説をおこなった。

会 場 神崎ふれあいプラザ 文化ホール
 会 期 平成24年11月6日(火)～11月17日(土)
 展示点数 42点
 開催日数 12日
 入場者数 1,107名
 ギャラリートーク 11月11日(日)①11時～
 ②13時30分～

<洋 画>

No.	作家名	作品名	制作年
1	ルソー	バルビゾン農場	1850-55頃
2	フォンタネージ	森の空地の農婦	1865頃
3	浅井 忠	藁屋根	1887頃
4	安井 曾太郎	熱海附近	1929
5	梅原 龍三郎	竹窓読書図	1937
6	大野 隆徳	ジョッキにさせるばら	1931
7	円城寺 昇	岩	不詳
8	山本 不二夫	美しき佐原河港	1940
9	石橋 武治	筑波遠望	1953
10	小堀 進	セーヌ川	1973
11	山倉 克己	田園春めく	1999
12	大崎 善生	初秋水郷	1989
13	鰐 嘔	BIRDS	1975
14	篠崎 輝夫	敦煌莫高窟	1996
15	鶴田 吾郎	小鳥たち	1965

<日本画>

No.	作家名	作品名	制作年
16	渡辺 學	川口	1976
17	小幡 春生	水郷風景	1980頃
18	大岩 成徳	南天に小禽	1982
19	五十嵐 幹	かくれんぼ	1983
20	関 主税	韻	1991

<版画>

No.	作家名	作品名	制作年
21	石井 柏亭	佐原	1917
22	浜口 陽三	1/4のレモン	1976
23	生田 宏司	猫と猫頭鷹	1999
24	星 襄一	王の樹	1976

<書>

No.	作家名	作品名	制作年
25	鈴木 方鶴	万昌	1973
26	大石 隆子	待君	1975
27	千代倉 桜舟	左近の詩	1994

<工芸>

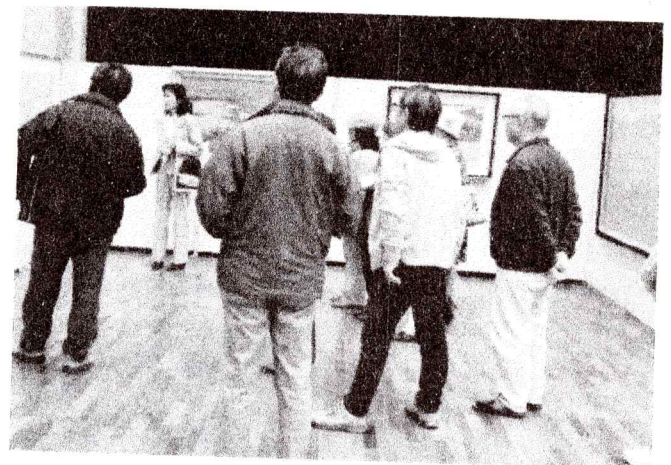
No.	作家名	作品名	制作年
28	深山 美峰	四君子	1955頃
29	猪俣 伊治郎	わだつみのひめみこ	2001
30	宮之原 謙	象嵌磁鉢	1968
31	土肥 刀泉	釉彩両耳花瓶	1967頃
32	秋山 逸生	蝶貝象嵌小箱	1970
33	藤田 喬平	飾篋・湖上の花	1980頃
34	香取 秀真	鳩香炉	1949
35	津田 信夫	兔	不詳

<彫刻>

No.	作家名	作品名	制作年
36	鈴木 章	七面鳥	1932
37	小倉 惣次郎	伊藤博文像	1909頃
38	高村 光太郎	手	1918

第64回千葉県美術展覧会(県展) 県展賞受賞作品

No.	作家名	作品名	制作年
39	佐々木實穂子	遠い日(祈り)	2012
40	宮里 瑞穂	不機嫌な朝	2012
41	田辺 心苑	弾琴谷	2012
42	平山 記通	回帰	2012



4 「復興への道のり ～東日本大震災記録写真展Ⅱ～」

日本赤十字社千葉県支部、千葉ポートタワーと共催し、日赤が所蔵する被災地の救護・救援活動の様子や、復興に向けて立ち上がり始めた被災地の様子を捉えた記録写真を中心に、救護・救援活動で使用した仮設テントや救援物資の実物展示を行った。また、釜石市内で実施した子ども向けワークショップ（ビルダーカード）の体験コーナーを設置した。

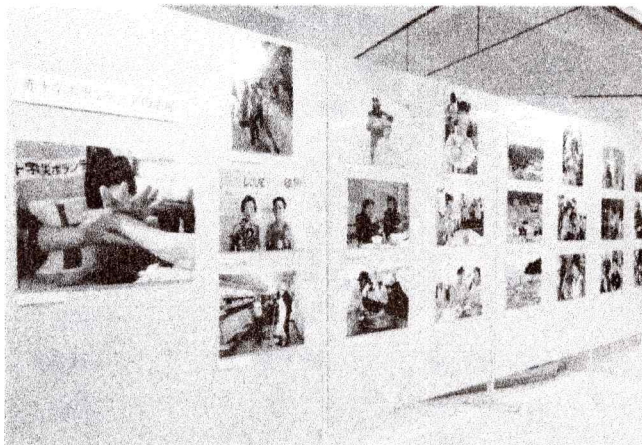
期日 平成25年2月25日（月）～3月11日（月）

場所 千葉ポートタワー 1階

来場者数 10,951名

内容

- ・日本赤十字社広報特使 藤原紀香氏によるギャラリートーク
 - ・日本赤十字社が所蔵する、震災直後から現在までを追った写真パネルの展示
 - ・日本赤十字社が被災地での支援活動を行った際の活動拠点（仮設救護所）の再現展示と、その際に使用した救護資機材の展示
 - ・石巻市に派遣された災害救護・救援車両の実物展示
- 3/10（日）
- ・ビルダーカード体験コーナーを設置



■ 普 及 事 業 ■

1 特別企画展・企画展関連事業関連事業

■特別企画展

魔法の美術館「光のアート展」関連事業

(1)スペシャルワークショップ

「じぶんちずバッグを作ろう！」～キラリ・夜の地図～」

特別企画展出品作家、山口レイコ氏が参加する「ハハコラボ」によるワークショップを開催した。夜をイメージしたバッグをキャンバスに見立てて、光る素材のアイロンプリントで地図を作り、バッグの模様とした。

日 時 平成24年7月22日（日）13:00～15:00

会 場 千葉県立美術館 第6展示室

参加者数 小学生 34人



(2)ワークショップ「キラキラ万華鏡作り」

プラスチック板を使った立方体の万華鏡を作った。立方体の側面にオリジナルの図柄を彫って、カットティングシートで好きな色をつけ、内部を覗くと外部からの光がステンドグラスのように内側の鏡に立体的に映り込んだ。鑑賞会も行った。申し込み多数により2回開催した。

1回目

日 時 平成24年7月28日（土）13:00～16:00

会 場 千葉県立美術館 第7展示室

参加者数 小学生 32人

2回目

日 時 平成24年8月18日（土）13:00～16:00

会 場 千葉県立美術館 第7展示室

参加者数 小学生 34人



(3)ミュージアムコンサート

「THE SHINY MUSICーマリンバ・バイオリンによる光のひとときー」と題して、マリンバ奏者の岡村麻子氏とバイオリン奏者の渡邊明日香氏のデュオによる演奏を行った。

日 時 平成24年8月19日（日）14:00～

会 場 第7展示室

奏 者 岡村麻子(マリンバ奏者)、渡邊明日香(バイオリン奏者)

内 容 「協奏曲大ソナタOp. 52より」第1～3楽章、「無伴奏バルティータ第3番」「ショーロ1番&9番」「リーガル・ハイスより」第1～3楽章

参加者数 384人



■企画展

「増村益城 一人間国宝 漆を極める」関連事業

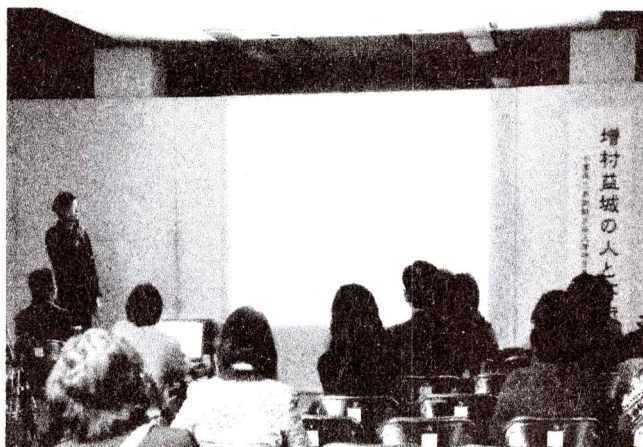
(1)美術講演会

企画展担当本館学芸員中松満始により、増村益城の幼年期から晩年に至るまでの生涯を、増村の作品の制作技法や鑑賞方法など映像と増村自身の言葉やエピソードを交えながら解説した。

日 時 平成24年12月16日（日）14:00～15:30

会 場 千葉県立美術館 第3展示室

参加者数 59人



(2) ギャラリートーク

増村益城展会期中の毎週日曜日午後2時から当館学芸員による計5回のギャラリートークを行った。

会場 第1・2・3・8展示室（企画展会場）

開催日時及び参加者数

11月18日（日）20名	11月25日（日）12名
12月2日（日）10名	12月9日（日）15名
12月23日（日）23名	

(3) 千葉学講座

本館講堂において千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」が開催され、本館学芸員中松満始が「漆の人間国宝 増村益城の歩み」と題して、増村の生涯の歩みと各時代ごとの作風の移りかわりなどを豊富な映像を用いて講演した。

日時 平成24年11月17日（土）14:00～

会場 千葉県立美術館 講堂

参加者数 20人

(4) ミュージアムコンサート

企画展「増村益城展」関連事業として、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉によるミュージアムコンサートを実施した。

日時 平成24年11月24日（土）14:00～

会場 講堂

演奏 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

内容 弦楽四重奏による室内楽コンサート

曲目 アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1・2・4楽章（モーツァルト）、四季「秋」より第1楽章（ヴィヴァルディ）、五木の子守唄（熊本県民謡）、

愛のあいさつ（エルガー）ほか

参加者数 178人



2 ワークショップ

鑑賞と一体となった創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で、以下のワークショップを開催した。

第1回ワークショップ「みんなのかお・faceあーと」

展示中の「アート・コレクション 肖像画」にちなんで紙皿を顔に見立てて、毛糸や色画用紙、カッティングシート等を使って、鏡を見ながら自分の一番良い表情を作った。自分の特徴や好みをデコラティブに、またデフォルメして表現した。

日時 平成24年5月12日（土）13:00～15:30

会場 第2実技室

参加者数 36名



第2回ワークショップ「いろいろ・創作あーと」

緑日のようなワークショップを実施した。内容は①ビルダーカードで遊ぼう②石ころであーと③頭の良くなる多角形を作ろう④カンパジを作ろう⑤プラスチックのストラップを作ろう⑥割り箸鉄砲を作ろうの6種類。参加者は、いろいろなタイプの作品作りを楽しんだ。

日時 平成24年6月16日（土）10:00～15:00

会場 第7展示室

参加者数 83名

第3回ワークショップ「キラキラ万華鏡作り」

「光のアート展」関連ワークショップの項を参照

第4回ワークショップ「モノレール・駅であーと」

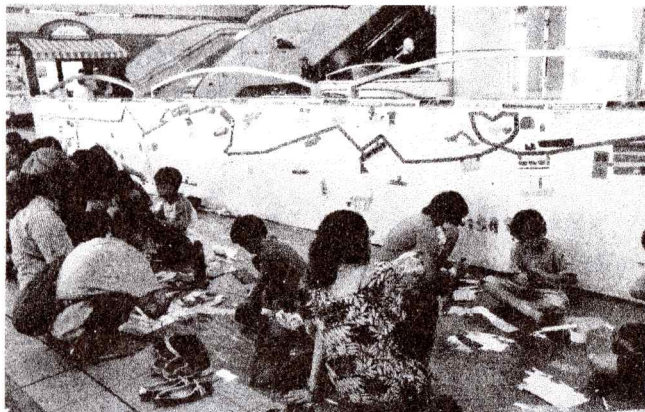
千葉都市モノレールとの共催で同モノレール千葉駅の構内連絡通路の壁面をキャンバスに見立てて、カッティングシートで創作を行った。「どんどんつながるモノレール、モノレールに乗って行ってみたい不思議な国」をテーマに制作した。モノレールに乗ってどんなく不思議な国>に行きたいか、どうしてその国が好きなのか、その国にいたらやってみたいこと等を文章にして、それをもとにした。

最後は、参加者全員の夢の国が1本のレールでつながった。

日 時 平成24年9月15日（土）13:00～15:30

会 場 千葉都市モノレール千葉駅構内

参加者数 小学生の親子19組



第5回ワークショップ「ワクワク・創作あーと」

自由参加で当日受付け、3歳以上を対象とし、先着200名のワークショップを実施した。内容は、色鉛筆、クーピーペンシル、ポスカ等で絵を描き、それをカンパジに仕上げた。こども県展期間中で多数の参加者でにぎわった。

日 時 平成24年12月1日（土）10:00～15:30

場 所 情報資料室前ロビー

参加者数 191名

3 実技講座

本館の「みる・かたる・つくる」の方針に基づき、制作や創造の機会とする実技講座「陶芸（応用・基礎）」・「金工」を設け、生涯学習の振興に寄与するとともに、美術鑑賞の審美眼を養う一助とした。

■陶芸講座（応用）

開催日 平成24年

5月15日（火）、16日（水）、17日（木）、23日（水）、
24日（木）、6月14日（木）、21日（木）（7日間）

講師 上瀧浩一氏

受講者数 20名

内 容 陶芸経験者が自由課題で作品を制作し、磁器皿の絵付け体験を行った。



■陶芸講座（基礎）

開催日 平成24年

6月26日（火）、27日（水）、28日（木）、7月3日（火）、
18日（水）、25日（水）（6日間）

講師 上瀧浩一氏

受講者数 21名

内 容 陶芸初心者を中心に、平皿、花瓶、茶碗の基本形態の作品3点を制作した。

■金工講座

開催日 平成24年

11月6日（火）、8日（木）、13日（火）、15日（木）、
20日（火）、22日（木）、27日（火）（7日間）

講師 平山記通氏

受講者数 11名

内 容 銅板を絞って立ち上げる基礎的な鍛金技法を学び、初心者はコップを制作。経験者はフライパンや片手鍋など、より大きく複雑な形態の課題に取り組んだ。

ホリデーアート

高校生や勤労者に土曜日・日曜日を活用した実技講座を設け、生涯教育の振興に寄与するとともに、美術館利用者の年齢層をより幅広いものとし、美術鑑賞の眼を養う一助とする。

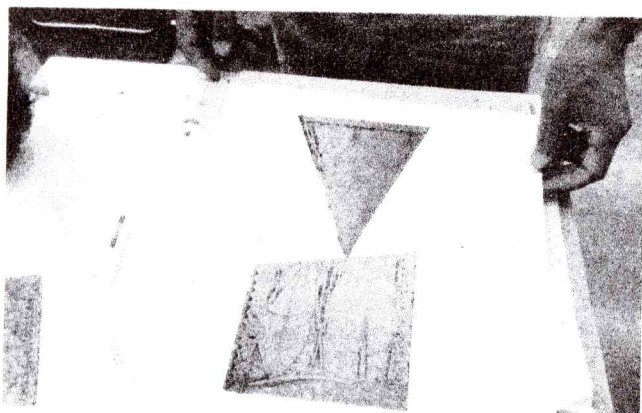
■コラグラフ講座

開催日 平成24年8月18日(土)、25日(土) (2日間)

講師 上田靖之氏

受講者数 13名

内容 紙や落ち葉、タコ糸等を厚紙にコラージュして版を作成し、一版多色刷りを行うコラグラフ技法を用いて作品を制作した。



■シルバークレイ講座

開催日 平成24年9月1日(土)、8日(土) (2日間)

講師 武藤由利子氏

受講者数 10名

内容 新しい造形素材である銀粘土を使用して、ペンダントとリングの二種類の作品を制作した。

実技講座作品展

平成24年度実技講座・ホリデーアートで制作した作品による展覧会を第6展示室で実施し、講座参加者の作品発表の場とするとともに、広報活動を行った。

会期 平成24年12月18日(火)～12月24日(月)

出品者数 40名

作品点数 62点

入場者数 457名

4 ミュージアムコンサート

本館の「みる・かたる・つくる」の方針に基づき、展示をギャラリートークやワークショップなどとともに、より芸術を楽しむことを目的としてミュージアムコンサートを開催した。

今年度は、企画展関連事業を含めて5つのコンサートを実施した。以下は企画展関連事業を除いた3つのコンサートである。

■シニア アンサンブルコンサート

千葉市アマチュア音楽趣味サークルとして、平成20年6月に発足。NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟に加盟しており、連盟の趣旨にのっとり中高年を中心としてアンサンブル演奏の振興を図り、生涯学習として音楽活動を楽しみ健康で生き甲斐のある人生を目指す。曲目は、「シチリアーナ」「ラデツキ-行進曲」「アロハ オエ」「コンドルは飛んでゆく」などクラシックから映画音楽、ポピュラーなど多彩なジャンルで構成された。

日 時 4月28日（土）14：00～15：00

会 場 講堂

参加者数 296名



■高校生によるサマーコンサート

夏休み期間中に千葉県立千葉女子高等学校と連携して、オーケストラ部によるサマーコンサートを開催した。2部制で実施し、幼児から高齢者までの参加者があった。

曲目は、久石譲作曲「となりのトトロ」より「さんぽ」、ビゼー作曲歌劇「カルメン」より「闘牛士」、マスカーニー作曲オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「間奏曲」など演奏し、夏休み期間中のこどもはもとより、大人も楽しめるプログラムとした。

日 時 7月21日（土）14：00～、15：00～

会 場 第7展示室

参加者数 1回目255名 2回目228名



■緑と歌のプロムナード

坂本昌子（メゾソプラノ）、大坪義典（バリトン）、佐々木伸枝（ピアノ）をむかえ、ミュージアムコンサートを開催した。曲目は、「セレナータ」、「ラルゴ」、「カルメン」よりハバネラ「闘牛士の歌」ほか。

日 時 5月19日（土）13:30会場 14:00開演～

会 場 講堂

参加者数 282名

5 博学連携事業

(1)貸出用学習キット

県内の学校や社会教育施設を対象に、当館が所蔵しているアートカード、複製画、日本画素材BOXの三種類の学習支援キットの貸出を行った。

①アートカードの貸出：幼稚園1件、小学校3件、中学校1件

②複製画の貸出：幼稚園1件、小学校2件、中学校1件、大学2件

③ビルダーカードの貸出：小学校2件

なお、今年度は釜石市への復興支援ワークショップにおいて、極めて有効な教具であったビルダーカードを、学校向け学習支援キットとして試験的に貸出を行った。

(2)出張授業

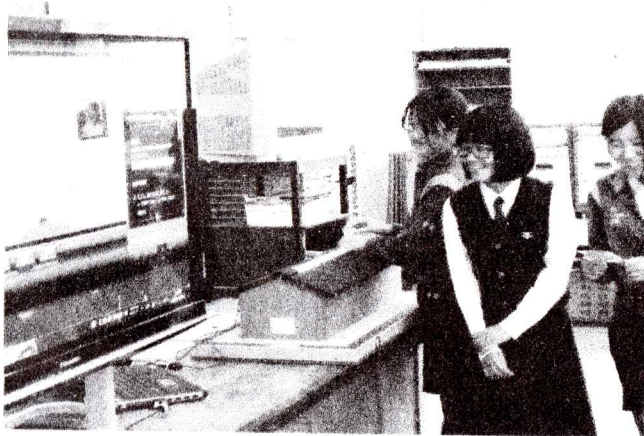
当館の職員が学校に赴き、先生と一緒に授業を行った。

①アートカードを使用したプログラム：小学校2件

②複製画を使用したプログラム：小学校1件、中学校2件
高等学校1件

③バーチャル・ミュージアムを使用したプログラム：中学校3件

④日本画素材BOXを使用したプログラム：幼稚園2件



(3)部活動・クラブ向けの取り組み

ワークショップ「等身大から始めよう～舟をつくる～」の実施

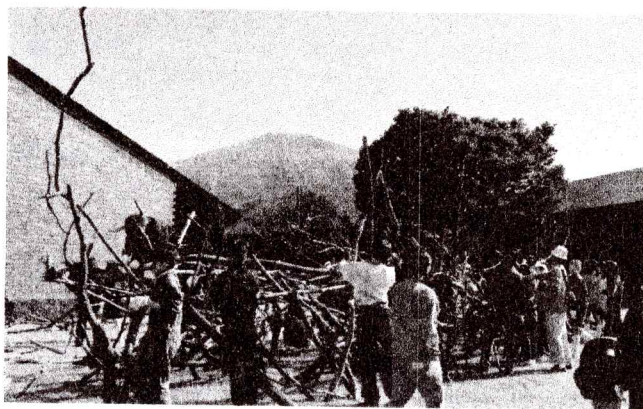
千葉大学教育学部加藤研究室と連携し、県内中学校美術部を対象としたワークショップを開催した。

期日 10月13日(土) 10:00～15:00

場所 中庭

内容 間伐材とシュロ縄を用いて巨大オブジェを制作した。制作した作品は約2ヶ月間中庭に展示、12月には夕方から作品のライトアップも行った。

参加校 千葉市立幕張西中学校、千葉市立幸町第二中学校、千葉市立蘇我中学校、成田市立成田中学校、成田市立下総中学校、四街道市立四街道中学校、印西市立滝野中学校、佐倉市立臼井南中学校、浦安市立堀江中学校、船橋市立葛飾中学校(10校82名)



(4)学芸員体験学習

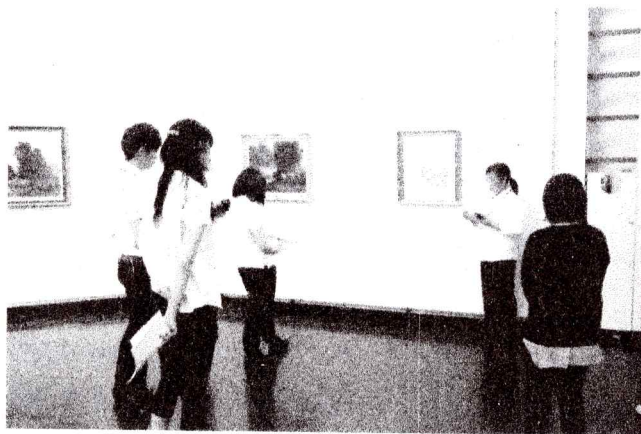
中学生、高校生を対象に、キャリア教育の一環として学芸員の仕事を1日～2日かけて体験するプログラム。今年度は、中学生向けに15件、高校生向けに1件実施した。

(5)博物館実習

各大学からの依頼により学芸員資格修得希望の学生を受け入れ、ワークショップの運営や作品の取り扱い方の学習、ギャラリートークの実施を行った。

期間 7/26(木)～8/1(水)(6日間)

受入大学 東京工芸大学(1人)、城西国際大学(1人)、千葉大学(1人)、女子美術大学(1人)、東北芸術工科大学(1人)、了徳寺大学(1人)、駒澤大学(1人)、多摩美術大学(1人)、(8大学8人)



(6)その他

上記以外にも、ケンピーおもしろ鑑賞教室として、来館した学校団体等を対象に鑑賞学習や創作体験を実施した。

6 地域連携事業

(1)「創造海岸アート祭2012～やわらかい未来～」

NPO法人ちば地域再生リサーチ、千葉市立磯辺第一中学校美術部と連携してアートプロジェクトを実施した。

期 日：平成24年9月9日(土)～17日(月)

実施団体：NPO法人ちば地域再生リサーチ、千葉市立磯辺第一中学校、千葉県立美術館

内容

公開制作「みんなの砦」9月9日(土)

実施場所：千葉県立美術館第7展示室

内容

アーティスト金子まどか氏と千葉市立磯辺第一中学校美術部の生徒により、第7展示室の回廊階段を使用した巨大インスタレーション作品「みんなの砦」の公開制作を実施した。

(2)「創造海岸アート祭2012～やわらかい未来～」展

期 日：9月11日(火)～17日(月)

実施場所：千葉県立美術館第7展示室 来場者数901名

内容

アーティスト金子まどか氏と千葉市立磯辺第一中学校美術部生徒によるインスタレーション作品「みんなの砦」や、千葉市在住の現代アーティスト猪鼻秀一氏の作品をはじめ、千葉地域再生リサーチが美浜区内で実施したワークショップにおいて、地域子ども達が制作した作品を展示した。



(3)「成田アート博覧会」

成田山の参道にある仲町商店街で、成田高等学校・付属中学校、市立成田中学校、成田市、成田市教育委員会、仲町街づくり協議会との共催で、アートプロジェクト「成田アート博覧会」を平成24年度文化芸術振興費補助金を得て実施した。

期日：11月17日(土)～12月2日(日)

場所：仲町商店街各店舗(期間11月17日～12月2日まで)

成田観光館3F(期間11月17日～12月2日まで)

*月曜休館

大野屋旅館2F(期間11月20日～11月25日まで)

実施団体：仲町街づくり協議会、成田高等学校・付属中学校、成田市立成田中学校、成田市経済部観光プロモーション課、成田市教育委員会生涯学習部生涯学習課、成田市教育委員会教育総務部学習指導課、千葉県立美術館(事務局)。

活動内容：「百年前の成田から百年後の成田へ」というテーマで、仲町商店街を中心とした成田の「現在・過去・未来」をテーマとしたまちかど展覧会を実施した。会場は、仲町商店街の各店舗と成田市観光館、大野屋旅館の三会場。「現在」については仲町商店街の27店舗に、中学生が描いた成田山の風景画46点を展示し、「過去」については、大野屋旅館において江戸後期から昭和初期にかけての成田山周辺の名所図会等の写真パネル40点と、実物展示として銅版画や絵葉書、大野屋旅館で実際に使用されていた物品等41点を展示した。「未来」については、成田市観光館に現在の風景から100年後の成田を想像して描いた絵画作品46点を展示した。

(4)美術をとおした復興支援活動

被災地での出張ワークショップ活動「夢づくり隊」の実施
日本赤十字社千葉県支部と連携し、東北地方の被災地で子ども向けの出張ワークショップを実施した。

■「夢づくり隊～釜石プロジェクト～」

期日：平成24年8月6日(月)～9日(木)

場所：釜石市内四か所

対象団体：釜石保育園、甲子学童育成クラブ、大町子育て支援センター、釜石小学校放課後子ども教室「ばしょまえ交流館」

参加者 合計146名

内容 「発見自分色！オリジナル・カンバッジ制作」と、「ビルダーカードあそび」を実施した。

■「夢づくり隊～福島市プロジェクト～」

期日：平成25年3月26日(火)

場所：福島市立野田小学校

対象団体：放課後児童支援施設「たかくら家キッズハウス」

参加者 合計50名

内容 「発見自分色！オリジナル・カンバッジ制作」と、「ビルダーカードあそび」を実施した。

7 情報資料室

情報資料室の開室によって、美術情報資料（図書・雑誌・図録等）の閲覧の機会を利用者に提供した。開館日数は226日（1～3月は耐震改修等工事のため休室）、利用者は419人であった。また、資料室前のロビーにおいて、各地の展覧会・イベント情報についてポスター・チラシ・案内状・雑誌等の掲示と配架により、美術情報を提供した。

あわせて美術情報資料の整理・充実を図り、平成24年度は諸ジャンル52冊の図書の寄贈を受け、収蔵図書数は6,525冊である。

8 活動協力など

■千葉県立美術館友の会

(1) 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

(2) 組織

- ・会員数 個人会員330人 賛助会員0人
- ・役員 会長1人 副会長3人 監事2人
- ・理事 若干名

(3) 事業

①友の会だより「しおさい」の発行 年4回各600部印刷し、会員に配布した。

②第36回葉美会展の開催

会期 平成24年9月4日（火）～9月9日（日）

出品者50人 展示点数 90点

③秋の美術鑑賞の旅

神奈川県的美術館や博物館を巡った。

期日 平成24年10月17日（水）

場所 横須賀美術館・神奈川県立近代美術館葉山館・

山口蓬春記念館・葉山しおさい博物館

参加者数 33人

④館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

⑤その他

テレフォンカード、絵葉書、額縁、図書等の販売

(4) 平成24年度友の会実技講座

洋画講座1

期日 5月8日（火）～10日（木）

5月15日（火）～17日（木）

講師 竹久秀樹 受講者33人

洋画講座2

期日 5月23日（水）～25日（金）

5月30日（水）～6月1日（金）

洋画講座3

期日 6月20日（水）～22日（金）

6月27日（水）～29日（金）

講師 羽生智樹 受講者33人

洋画講座4

期日 7月3日（火）～5日（木）

講師 根岸茂行 受講者26人

洋画講座5

期日 7月10日（火）～13日（金）

7月18日（水）～19日（木）

講師 竹久秀樹 受講者33人

洋画講座6

期日 10月17日（水）～19日（金）

10月24日（水）～26日（金）

講師 羽生智樹 受講者33人

洋画講座7

期日 11月13日（火）～15日（木）

11月20日（火）～22日（木）

講師 濱田清 受講者30人

水彩画講座

期日 6月6日（水）～8日（金）

6月13日（水）～15日（金）

講師 青柳光枝 受講者19人

日本画講座

期日 10月27日（土）・30日（火）～31日（水）

11月1日（木）～11月3日（土）

講師 中村寛治 受講者8人

■ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、ボランティアを募集し、登録者数14名で活動した。活動は情報資料室のレファレンスを中心として、企画展の案内監視業務の補助、ワークショップの材料の準備や加工、資料発送の準備、図録の整理など美術館活動をいろいろな側面から補助した。

■サポーター

ワークショップの予行練習と内容の検討・実践指導、ホームページ制作のアドバイザー等としてボランティアを募集し、14名がサポーターとして活動した。

■ 調査・収集事業 ■

1 平成24年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場・会期	申請者（貸出先）
香取秀真	美々豆久香炉	越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910's -1945	東京国立近代美術館工芸館 24. 4. 24 ~ 7. 16	東京国立近代美術館工芸館
東山魁夷	秋深	東山魁夷展	北海道立近代美術館 24. 7. 20 ~ 9. 9	北海道立近代美術館 宮城県美術館 日本経済新聞社
	春雪	東山魁夷展	宮城県美術館 24. 9. 22 ~ 11. 11	
荒谷直之介	若い裸婦たち 大島風景 白船入港（マラガ） 那覇の踊り子 大原女	荒谷直之介展	佐倉市立美術館 24. 8. 4 ~ 9. 23	佐倉市立美術館
小暮青風	天鵲 万葉集東歌 漂泊の思い 修羅 一閑人 天地茫々 無何有	古暮青風展	成田山書道美術館 24. 9. 1 ~ 10. 28	成田山書道美術館
長谷川昂	砂あそび	第 64 回千葉県美術展覧会（県展）	千葉県立美術館 24. 10. 6 ~ 10. 14	千葉県美術会
中西利雄	トリエール・シュール・ セーヌ 南仏風景 人物（婦人像 A） 四人の女 曇り日の離宮と駅	水絵への情熱—中西利雄と蒼原会の画家たち	茨城県つくば美術館 24. 10. 27 ~ 12. 2	茨城県つくば美術館
富田通雄	静かなる日			
不破章	描く 0 君 二女 台湾の農家			
鎌崎輝夫	敦煌莫高窟 小雁塔 敦煌莫高窟 馬純禄（桂林の老人）	シルクロード友の会展	画廊ジュライ 24. 10. 25 ~ 10. 30	シルクロード友の会

2 平成24年度新収蔵資料一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法(縦×横) cm (高×巾×奥行) cm
1	関 主税	園	1999	紙・着彩	寄贈	141.5 × 189.7
2		砂丘	1962	紙・着彩	寄贈	122.0 × 196.5
3	若木 山	曳き	1949-55	紙・着彩	寄贈	150.7 × 453.0
4		力士	1960-64	紙・着彩	寄贈	217.0 × 171.3
5	増村益城	紙胎朱溜葉盤	1987	漆	寄贈	5.5 × 28.6 × 28.8
6	互井開一	八丈島	1935	紙・水彩	寄贈	57.0 × 77.0
7		式根島	1935	紙・水彩	寄贈	57.0 × 76.5
8		海浜《海辺》	1962	紙・水彩	寄贈	91.0 × 53.0
9		河畔の邑	1966	紙・水彩	寄贈	81.0 × 100.0
10		野菜と燻せい	1966	紙・水彩	寄贈	45.8 × 65.4
11	柳 敬助	内田邦彦像	1913	キャンバス・油彩	寄贈	45.5 × 38.0

3 平成24年度 収蔵資料数一覧 (平成25年3月31日現在)

《収蔵資料》				
受入方法	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	183	26	337
洋画	355	547	41	943
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	249	10	408
書	110	163	14	287
版画	175	106	5	286
合計	1,000	1,297	107	2,404
《研究資料》				
研究資料	243	1,320	54	1,617

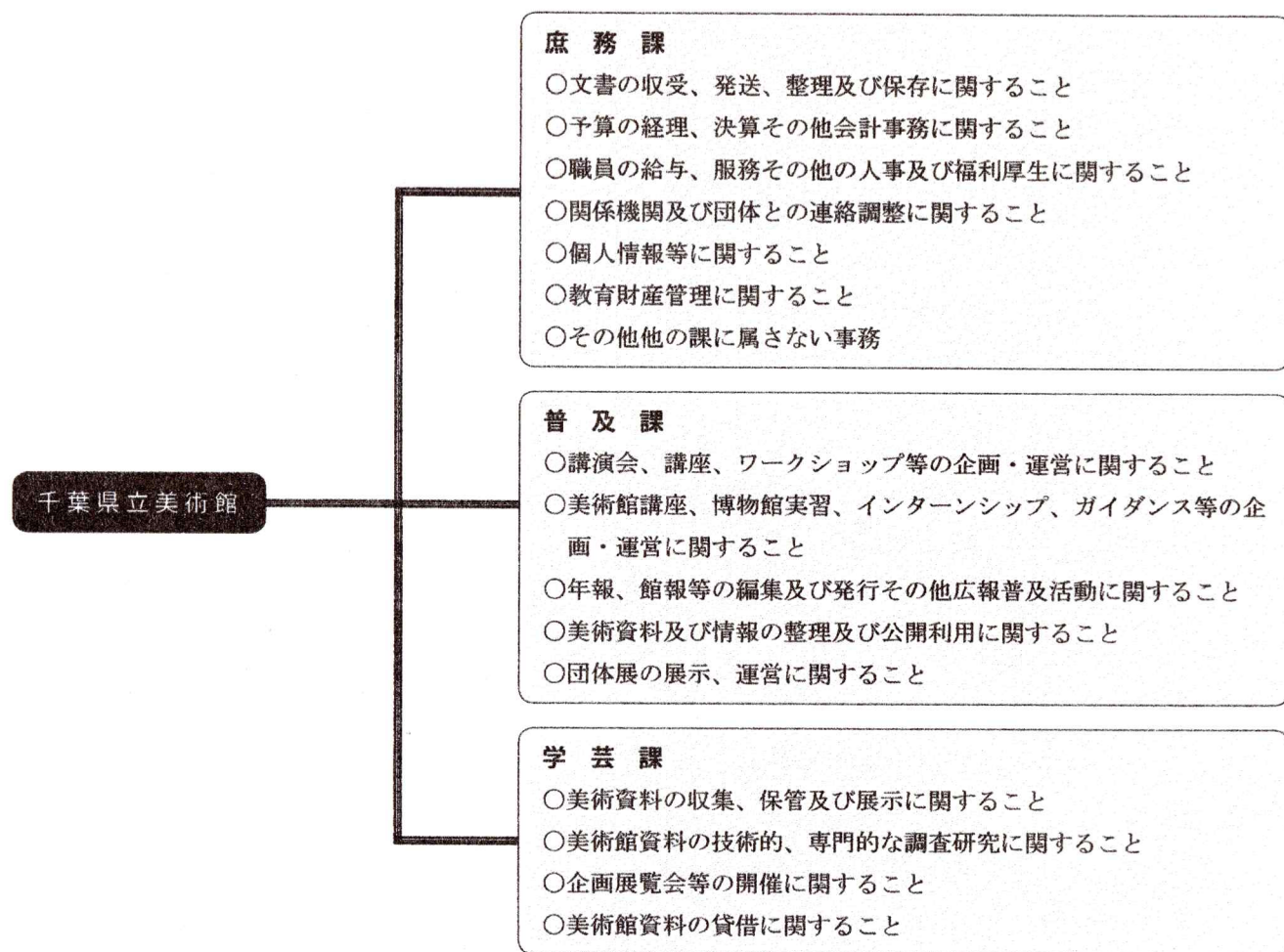
■ 管 理 運 営 ■

千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

1 組織



千葉県博物館協議会

- 教育機関設置条例第21条の2の規程により組織、運営している。
- 館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から県教育委員会が任命している。

千葉県立美術館友の会

- 館の活動に協力、展覧会・実技講座・美術鑑賞の旅の開催、会報の発行などを行っている。

2 平成24年度職員

館長 中里文男
副館長 中村昭彦
副館長 金田雅成

庶務課 主査 高木清彦
主査 岸部俊哉
副主査 渡邊なな
主任用務員 長島則子

普及課 課長 渡邊修一
主任上席研究員 相川順子
主任上席研究員 半澤幹雄
研究員 東健一

学芸課 課長 谷鹿栄一
主任上席研究員 中松れい
主任上席研究員 渋谷さゆり
主任上席研究員 石崎千津子
主任上席研究員 高梨友子

3 利用状況

平成24年度入館者一覧表

	開館日数	入場者計	個 人										
			計	有 料			無 料						
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	6,679	6,515	712	669	43	5,803	2,909	80	150	2,442	222	
5月	26	11,262	11,055	792	733	59	10,263	4,999	135	766	3,888	475	
6月	26	9,401	9,042	654	632	22	8,388	4,107	84	604	3,268	325	
7月	26	14,460	14,229	2,367	2,265	102	11,862	3,350	151	2,696	3,901	1,764	
8月	27	25,512	25,323	6,162	5,656	506	19,161	2,427	449	6,362	5,686	4,237	
9月	26	10,498	10,498	1,950	1,856	94	8,548	3,052	155	997	3,408	936	
10月	20	22,954	22,653	1	1	0	22,652	12,978	85	491	8,653	445	
11月	26	10,916	10,812	233	222	11	10,579	5,430	494	565	3,785	305	
12月	23	44,565	44,352	540	502	38	43,812	16,964	294	10,865	11,705	3,984	
1月													
2月													
3月													
計	226	156,247	154,479	13,411	12,536	875	141,068	56,216	1,927	23,496	46,736	12,693	
	開館日数	計	団 体										
			計	有 料			無 料						団体
				一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他		
4月	26	164	50	50	0	114	30	0	0	83	1	3	
5月	26	207	126	126	0	81	0	0	0	81	0	5	
6月	26	359	17	17	0	342	40	0	156	63	83	7	
7月	26	231	38	38	0	193	29	0	79	24	61	8	
8月	27	189	12	12	0	177	33	52	26	38	28	6	
9月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	20	301	0	0	0	301	156	0	53	43	49	8	
11月	26	104	7	7	0	97	5	0	0	51	41	3	
12月	23	213	0	0	0	213	15	0	28	0	170	4	
1月													
2月													
3月													
計	226	1,768	250	250	0	1,518	308	52	342	383	433	44	
	開館以来 総開館日 数			11,239	日			その他＝ (就学前児 童)＋(身 体障害者)					
	前年度			11,013	日			総入館者数 前年度		6,331,354		人	
										6,175,107		人	

4 平成24年度団体展一覧

展覧会名	展示内容	利用期間	出品点数	入場者数
1 千葉県幕張総合高等学校書道展	書道	3/26 月 ～ 4/1 日	95	510
2 第27回日本画四季展	日本画	4/2 月 ～ 4/8 日	72	1,212
3 第28回千葉県日本水彩展	水彩画	4/2 月 ～ 4/8 日	227	1,750
4 第82回郷陽会展	洋画	4/9 月 ～ 4/15 日	191	1,650
5 ガラス絵コクリコ会25年記念展	ガラス絵	4/9 月 ～ 4/15 日	74	1,259
6 第26回千葉水彩展	水彩画	4/16 月 ～ 4/22 日	44	620
7 msb2012chiba38th展	洋画・日本画・デザイン・工芸等	4/23 月 ～ 4/30 月	55	1,003
8 第39回千葉新協美術展	洋画・日本画・版画	4/23 月 ～ 4/30 月	205	1,320
9 第38回歩会彫刻展	彫刻	4/23 月 ～ 4/30 月	44	1,129
10 第42回表美展	表装	5/1 火 ～ 5/6 日	45	762
11 東華書院展	書道	5/1 火 ～ 5/6 日	380	1,263
12 第26回カラダスト展	洋画	5/1 火 ～ 5/6 日	25	1,075
13 第21回玄鳥書院展	書道	5/7 月 ～ 5/13 日	43	720
14 第52回千葉アマチュア美術会展	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	5/14 月 ～ 5/20 日	924	2,887
15 第57回二科会千葉支部展	洋画	5/21 月 ～ 5/27 日	626	2,624
16 第38回鏡展	絵画・立体・工芸・写真	5/21 月 ～ 5/27 日	42	1,212
17 第36回墨の泉展	水墨画	5/28 月 ～ 6/3 日	381	2,005
18 第59回千葉県書道協会展	書道	6/4 月 ～ 6/10 日	422	1,053
19 第15回千葉多摩美会展	油画・日本画・デザイン・工芸等	6/11 月 ～ 6/17 日	58	1,500
20 第42回新構造千葉支部展	絵画・写真・工芸	6/11 月 ～ 6/17 日	140	1,163
21 第34回新桃樹社千葉県支部展	洋画	6/18 月 ～ 6/24 日	40	1,154
22 第35回千葉一陽展	油画	6/18 月 ～ 6/24 日	120	2,504
23 第16回仲間達展	油画・水彩画・版画・デッサン等	6/18 月 ～ 6/24 日	53	1,046
24 千葉県小中学校書写展覧会	書道	6/25 月 ～ 7/1 日	620	2,577
25 第40回水彩連盟千葉支部展	水彩画	6/25 月 ～ 7/1 日	114	1,765
26 第44回千葉市水墨画同好会連合会展	水墨画	7/2 月 ～ 7/8 日	471	1,559
27 第20回三軌会千葉支部展	絵画・写真	7/9 月 ～ 7/16 月	139	2,070
28 第23回千葉県木彫会展	彫刻	7/9 月 ～ 7/16 月	41	935
29 第44回習美会初夏大作展	洋画・日本画・水墨画	7/17 火 ～ 7/22 日	247	1,297
30 第46回漱雲会全国書道展	書道	7/23 月 ～ 7/29 日	380	1,239
31 第57回千葉二紀展	油画	7/23 月 ～ 7/29 日	74	1,800
32 第29回千葉県医師会美術展	油画等	7/23 月 ～ 7/29 日	87	1,500
33 第41回写真千葉県展	写真	7/30 月 ～ 8/5 日	316	3,010
34 第22回太平洋美術会千葉支部展	油画・水彩画・版画・彫刻・染織	7/30 月 ～ 8/5 日	189	1,917
35 平成24年度千葉県特別支援学校作品展	造形・絵画・写真・書道	7/30 月 ～ 8/5 日	422	2,160
36 第44回第一美術協会千葉県支部展	絵画・彫刻・工芸	8/6 月 ～ 8/12 日	141	2,925
37 第41回千葉硯心会書展	書道	8/6 月 ～ 8/12 日	47	1,276
38 第42回いてふ会彫刻展	彫刻	8/6 月 ～ 8/12 日	73	1,680
39 第9回なの花書道愛好会展	書道	8/13 月 ～ 8/19 日	135	1,832
40 第52回白扇書道会展	書道	8/20 月 ～ 8/26 日	2,727	3,225
41 第42回千葉県大学美術連盟展	絵画・立体造形	8/27 月 ～ 9/2 日	94	2,029
42 第29回千葉中美展	油画・水彩画・日本画	8/27 月 ～ 9/2 日	198	2,959
43 第37回陽画会油絵展	油画	8/27 月 ～ 9/2 日	67	1,365
44 第50回新世紀千葉支部展	油画・水彩画・版画	9/3 月 ～ 9/9 日	54	1,013
45 第59回千葉県勤労者美術展	油画等	9/3 月 ～ 9/9 日	135	869
46 葉美会展	油画等	9/3 月 ～ 9/9 日	90	856
47 第62回千葉デザイン展2012	デザイン	9/10 月 ～ 9/17 月	105	1,023
48 千葉県高等学校総合文化祭第45回合同写真展	写真	9/10 月 ～ 9/17 月	859	1,756
49 第35回千葉県写真展	写真	9/10 月 ～ 9/17 月	298	2,087
50 第9回日本春秋書院千葉書道団展	書道	9/18 火 ～ 9/23 日	209	380
51 第23回千葉県教育芸術祭	総合芸術	9/24 月 ～ 9/30 日	797	1,639
52 第64回千葉県美術展覧会(県展)	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	10/1 月 ～ 10/28 日	2,719	22,550
53 第24回千葉県高等学校総合文化祭「美術工芸書道作品展」	絵画・工芸・書道	10/29 月 ～ 11/11 日	3,110	5,898
54 二科会写真部第32回千葉支部展	写真	11/12 月 ～ 11/18 日	127	1,042
55 第24回平和を願う美術展	油画・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・彫刻・工芸・陶芸・インスタレーション	11/12 月 ～ 11/18 日	250	1,380
56 第24回創造美術会千葉支部展	洋画・日本画・染織画・彫刻・陶芸	11/12 月 ～ 11/18 日	69	820
57 第44回千葉現展	絵画・デザイン・工芸等	11/19 月 ～ 11/25 日	63	901
58 第39回文化書道千葉県連合会公募展覧会	書道	11/19 月 ～ 11/25 日	292	1,003
59 第11回パッチワークキルト展	パッチワークキルト	11/19 月 ～ 11/25 日	139	1,129
60 第8回伝統工芸陶業会展	陶芸	11/19 月 ～ 11/25 日	73	1,123
61 第57回こども県展(平成24年度千葉県児童生徒美術展覧会)	水彩画	11/26 月 ～ 12/9 日	9,336	39,212
62 第11回陶友会合同作品展	陶芸	12/10 月 ～ 12/16 日	260	1,300
63 第26回書選抜展	書道	12/10 月 ～ 12/16 日	234	820
64 第3回ハングル書道・韓国伝統文化展	ハングル書道	12/10 月 ～ 12/16 日	101	569
65 第37回千葉県民写真展	写真	12/10 月 ～ 12/16 日	402	950
66 第38回子ども造形展	油画等	12/17 月 ～ 12/24 月	1,500	2,514
67 第24回日本童謡の書展	書道	12/17 月 ～ 12/24 月	1,948	2,539
			34,058	163,914

5 施設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル—先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珪器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV（定風量型）+VAV（可変風量型）方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx（平均）以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx（薄暗）から5,000lx（曇天）の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン（これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した）にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による透過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル（透過率53.6%）と黒地のジョーゼット（透過率35%）の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに抑えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：(株) 竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業（株）

衛生＝第一管工事（株）

電気＝関東電気工事（株）

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87 m ²
建築面積	8,777.94 m ²
延床面積	10,663.57 m ²
展示棟	6,343.02 m ²
管理棟	2,818.89 m ²
県民アトリエ棟	1,501.66 m ²
駐車場台数	96 台

〈工期及び建設経費〉

- (1) 第1期工事(展示棟) 5,194.59 m²
(建築面積 5,102.35 m²)

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967 千円

本体工事	425,230 千円
電気設備工事	79,663 千円
空調設備工事	166,493 千円
給排水衛生設備工事	28,995 千円
外溝工事	67,705 千円
ガス工事	7,881 千円

- (2) 第2期工事(管理棟) 2,274.60 m²
(建築面積 1,089.50 m²)

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800 千円

本体工事	307,500 千円
電気設備工事	30,000 千円
空調設備工事	79,000 千円
給排水衛生設備工事	19,514 千円
外溝工事	17,786 千円

- (3) 第3期工事(県民アトリエ) 1,501.66 m²
(建築面積 1,449.34 m²)

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000 千円

本体工事	265,300 千円
電気設備工事	35,000 千円
空調設備工事	56,200 千円
給排水衛生設備工事	13,500 千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000 千円

外構工事	8,000 千円
------	----------

- (4) 第4期工事(第8展示室 1,148.43 m²
収蔵庫 544.29 m²) 1,692.72 m²
(建築面積 1,136.75 m²)

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500 千円

本体工事	476,000 千円
電気設備工事	81,000 千円
空調設備工事	171,000 千円
給排水衛生設備工事	19,500 千円
総工事費	2,355,267 千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL - 5.00m

高 さ：GL + 15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋 根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41 及び高張力鋼

コンクリートの種類

A 種・普通コンクリート(基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c = 210\text{kg/cm}^2$

B 種・軽量コンクリート(梁・スラブ用・地上部)

$F_c = 300\text{kg/cm}^2$

C 種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁・壁など) $F_c = 240\text{kg/cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式 6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟 = CAV(定風量型) + VAV(可変風量型)方式

管理棟 = VAV方式

保管庫 = 露点再熱制御方式

県民アトリエ棟 = 各室ハンドリング方式

熱 源：空気熱源スクリュウ熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水：ポンプ圧送方式、引込み管径 75mm

排 水：汚水・雑排水合流方式系統(管径 300)、雨水系統(管径 300)別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン 1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力 100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規 模：容量 3,000kg

カゴ内法 = 3,000mm × 3,000mm × 3,000mm

速度 30m/min

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫A	2.70㎡
倉庫B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所A	30.24㎡
便所B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室(新)	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E. V機械室	27.28㎡
E. V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡

計 ① 6,343.02㎡

管理棟

(1階)	
第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱人室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡
(2階)	
館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E. V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
〃 B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクトスペースその他	3.56㎡

小 計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

県民アトリエ棟

1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡

計 ③ 1,501.66㎡

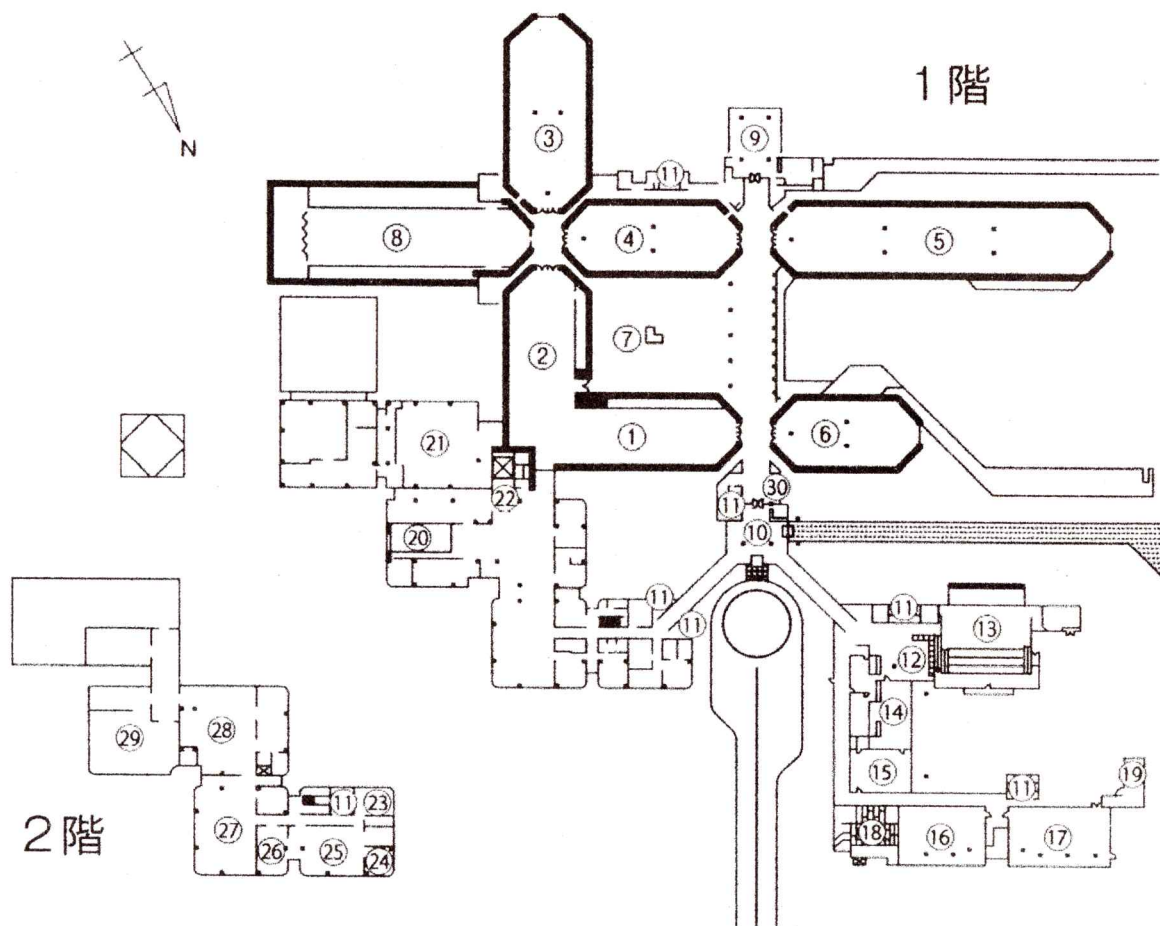
合 計 10,663.57㎡

(①+②+③)

〈参考〉

*展示室総面積	4,296.30㎡
*収蔵庫総面積	771.50㎡

施設平面図



- | | | | |
|-------|------------------------------------|----|------------|
| 1～8 | 展示室 | 19 | 窯場 |
| 9 | 食堂 (44席) | 20 | 搬出入口 |
| 10 | 玄関ホール | 21 | 機械室 |
| 11 | トイレ 男子用 6ヶ所
女子用 6ヶ所
身障者用 2ヶ所 | 22 | エレベーター |
| 12 | ホール | 23 | 館長室 |
| 13 | 講堂 (200人) | 24 | 副館長室 |
| 14 | 情報資料室 | 25 | 庶務課 |
| 15 | 研修室 (40人) | 26 | 会議室 |
| 16～18 | 実技室 | 27 | 学芸課・普及課 |
| | | 28 | 研究工作室 |
| | | 29 | 収蔵庫 |
| | | 30 | ミュージアムショップ |

平成24年度利用案内

■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分
 休館日 月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 10月12日～14日、25・26日、11月8日

■入場料（※）内は20名以上の団体料金

常設展 一般 300円(240円)
 高校・大学生 150円(120円)
 小・中学生 無料
 65歳以上 無料

平成24年度特別企画展

魔法の美術館 光のアート展

—光と遊ぶ超体感型ミュージアム—

一般 800円(640円)
 高校・大学生 400円(320円)
 小・中学生 無料
 65歳以上 無料

平成24年度企画展「増村益城展—人間国宝 漆を極める—」

一般 500円(400円)
 高校・大学生 250円(200円)
 小・中学生 無料
 65歳以上 無料

■平成25年1月より3月末日までは耐震改修等工事に伴い休館。ただし管理部門は月曜日から金曜日を通常勤務、土日祝を休日とした。

■交通

電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅下車徒歩約10分

千葉駅からバス利用

千葉駅東口《12番のりば》

「千葉ポートタワー」行『美術館・中央郵便局』下車徒歩約2分（※本数少）

千葉駅東口《11番のりば》

「稲毛海岸駅」「幸町団地」「海浜病院」行（ポートアリーナ経由）『市役所中央署入口』下車徒歩約8分

千葉駅東口《5番のりば》「千葉みなとループバス」

「千葉中央警察署」下車徒歩約5分

自動車

東京方面から 東関東自動車道『湾岸習志野』I.Cから約20分

成田方面から 京葉道路『穴川』I.Cから約20分

東金方面から 千葉東金道路『千葉東』I.Cから約20分

館山方面から 京葉道路『松ヶ丘』I.Cから約20分

駐車場無料（96台利用可・うち2台は身体障害者用）

平成24年度 千葉県立美術館年報 (No.39)

平成25年12月25日発行

発行者 千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目10番1号

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

